

会 議 録

会 議 の 名 称		令和 6 年 度（2024年度）第 2 回 豊中市障害者施策推進協議会		
開 催 日 時		令和 7 年（2025年）3 月 28 日（金曜日）1 4 時 0 0 分～1 6 時 0 0 分		
開 催 場 所		豊中市役所第二庁舎 3 階大会議室	公 開 の 可 否	☒ 可・不可・一部不可
事 務 局		福祉部障害福祉課	傍 聴 者 数	4 人
公 開 し な か っ た 理 由				
出席者	委 員	大谷会長、星屋副会長、河本委員、澤委員、星名委員、六車委員、北野委員、寺本委員、井上委員、三宮委員、荒木委員、湯川委員、上田委員、小山委員、福本委員、奥村委員 以上、16人		
	事 務 局	小野福祉部長、甲斐福祉部次長 （以下、障害福祉課） 酒井課長、細貝主幹、畑主幹、森田補佐、阿部補佐、大東副主幹、加藤副主幹、東野係長、泉谷係長、胡田係長、酒井係長、増子主査、武智		
	そ の 他			
議 題		案件 1．障害を理由とする差別の解消の推進に関する豊中市職員対応要領検討部会について（報告） 案件 2．豊中市障害者相談支援センター業務運営事業者評価部会について（報告） 案件 3 豊中市障害福祉センター運営検討部会について（報告） 案件 4．その他		
審 議 等 の 概 要 （主な発言要旨）		別紙のとおり		

議事要旨

- 開会あいさつ
- 事務局より会議の案内ならびに配布資料の確認
- 委員紹介、事務局紹介
- 会議成立報告

【案件1】障害を理由とする差別の解消の推進に関する豊中市職員対応要領検討部会について(報告)

(事務局)

- ・案件1について説明。

(会長)

- ・案件1について質問はあるか。

(委員)

・国の対応要領に従ってそのまま反映しているように感じる。また、対応要領が市行政の危機管理や職員のコンプライアンス上のものとなっており、当事者に対してどうあるべきかというメッセージが咀嚼できていないように思う。

(事務局)

・対応要領は、市職員に対して対応に関する1つの指針という形で、既存のものを改正している。また、市民に公表する。

(会長)

・対応要領の基準は国基準ではあるが、いろいろと事情が変わっていく中で、状況を見直ししながら意見を吸収しつつ、改正に反映していきたいと思う。

- ・本件について了承いただいたということで次の案件に進みたい。

【案件2】豊中市障害者相談支援センター業務運営事業者評価部会について(報告)

(事務局)

- ・案件2について説明。

(会長)

- ・案件2について質問はあるか。

(委員)

- ・資料3枚目の80-50の意味はなにか。

(事務局)

- ・80歳以上の親と50歳以上の子の組み合わせのこと。

(委員)

- ・評価について、トータルとしてB評価をつけたとあるが、中にはD評価のセンターもあったのか。

(事務局)

- ・項目1つ1つの評価は、時間の都合上行っていない。しかし、D評価がつくような著しく劣っているところはなかった。

(委員)

- ・今回の評価を受けて、次年度にどう活かしていくのか。

(事務局)

- ・毎月1回、7センター集まっての連絡会議を開催している。課題については、モニタリングをしながら改善に努めていきたい。

(委員)

- ・課題に応じた方策を立て、一つずつ積み重ねていく対応をしてもらいたい。

(会長)

- ・委員からの提案のとおり、課題を明らかにし、どう取り組むかを明示していただきたいと思う。
- ・本件について了承いただいたということで次の案件に進みたい。

【案件3】豊中市障害福祉センター運営検討部会について(報告)

(事務局)

- ・案件3について説明。

(会長)

- ・案件3について質問はあるか。

(委員)

・福祉避難所について、視覚障害者用の避難所など障害特性に応じた個別の避難所は用意されているか。

(事務局)

・現状はない。福祉避難所なので、障害のある方も高齢の方も体の調子が悪い方も含めて受け入れていく機能となっている。

(委員)

- ・今後設ける予定はあるか。

(事務局)

・所管が危機管理課となるので、連携して取り組んでいく。また、障害福祉センターひまわりはバリアフリーが充実しているので、安心・安全に避難できるよう取り組んでいきたい。

(会長)

・福祉避難所は大所帯になってしまう特性がある。支援学校を福祉避難所に指定してもよいという文部科学省の通達もふまえ、取り組んでいただければと思う。

- ・本件について了承いただいたということで次の案件に進みたい。

【案件4】その他(報告)

(事務局)

- ・次回開催日程案内(未定)

以上